

# 八郷広報

NO. 117 1965. 4. 15

発行所 八郷町役場  
茨城県新治郡八郷町  
電話(柿岡) 4番  
発行責任者 岩本佳之  
印刷所 飯島印刷所

町の人口  
男 14,684人  
女 15,314人  
計 29,998人  
世帯数 5,647戸  
(4月1日現在)

総予算額	
一般会計	3,326,188千円
一 国保	72,822
一 有線	13,090
一 共済	38,084
一 水道	20,489
合 計	4,771,103

## 40年度 総予算額 4億7千7百10万3千円

昨年を約1億2千6百万円上回る

### 統合中(有明中)の建設など

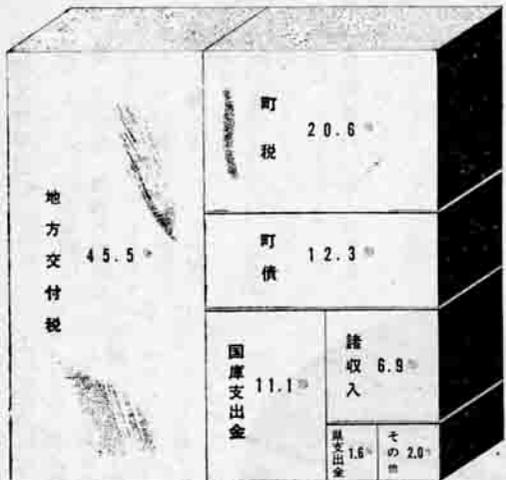
#### 六つの重点事業を推進

第一回定例議会の最終日、一般会計と四つの特別会計予算……総額四七、一〇三千万円が議決されたが、これは昨年の予算を二六、八二七千万円上回るもので、六つの重点事業は……この予算によって進められることになった。



(施政方針をのべる町長)

▽町税	六八、三〇七千円	▽町民税、固定税、軽自動車税、たばこ消費税など
▽地方交付税	一五、〇〇〇千円	▽旧負担金、国民年金など
▽分担金及び負担金	四〇〇千円	▽県支出金
半田土地改良事業による受益者分担金	一〇〇千円	▽県補助金
▽使用料及び手数料	二、八六六千円	▽林道建設事業補助金、参院選挙委託金など
保育所使用料、町営住宅使用料、戸籍手数料など	二、八六六千円	▽財産収入
▽国庫支出金	三六、八一二千円	▽寄附金
中学校建設負担金、児童及び老人福祉負担金、災害復旧	三六、八一二千円	▽繰入金
▽町債	四〇、九〇〇千円	▽繰越金
柿岡中建設債、有明中建設債、道路新設事業債など	四〇、九〇〇千円	▽諸収入
		興農資金貸付金元利収入、国民年金印紙代、衛生関係薬剤代徴収金など



#### 40年度にはこんな仕事を

- ① 統合中学校の整備  
有明中学校の建設などを行ない、中学校教育の基盤を整備する。
- ② 道路の整備  
町道、河川、護岸の整備など、建設事業を引き続き実施するほか、県道の舗装、改良を積極的に促進する。
- ③ 農林業の振興  
農業の振興のため、農業構造改善事業の具体的な振興計画を樹立するとともに、農業協同組合とも密接な連携を保つ。
- ④ 町民の健康管理  
明るい環境、住みよい町で、健康的な生活をモットーに、病気の予防や環境衛生の施策の充実を図る。
- ⑤ 社会福祉の増進  
老人福祉、児童福祉、保育所の整備などを、昨年に引き続き行ない、よりよい運営を図る。
- ⑥ 国民健康保険の円滑な運営  
医療費などの上昇によって国保税の増額となったが、保険制度の円滑な運営で町民の健康管理を行ない、四十一年一月から全面七割給付にしたい。

#### 「はいるお金」(一般会計)

#### 「でるお金」

#### 民生費

#### 農林水産業費

#### 土木費

#### 衛生費

議員の報酬、職員給料、議長交際費、負担金など  
一、七四三千元

保健衛生総務費六、二八四千元は、赤ちゃんコンクール賞賜金、簡易水道特別会計への繰入金などがおもなもの。予防費は、予防接種などの嘱託医報酬、各種予防接種の費用、胃の検診の手数料などで四、三二九千円です。環境衛生費は、わずめの駆除薬と環境衛生の消毒薬などがおもで六、三八七千円。清掃費は一七〇千円。

おもな仕事として、柿岡下宿から役場裏を経て北町高校線に接続する通学道路の新設のため、上層弓張間の道路改良工事、その他の道路、橋梁の改良は、主要道路から行ない効果的効果を図る。また、県道石岡下宿線の舗装促進などを、県に要請します。

町独自の行なう災害復旧費が二、三六〇千円と三十九年度の災害復旧費として国の査定を受け、決定された六カ所分の三、一八〇千円です。

町独自の行なう災害復旧費が二、三六〇千円と三十九年度の災害復旧費として国の査定を受け、決定された六カ所分の三、一八〇千円です。

総務管理費は三六、〇一六千円で、内訳は区長及び区役員手当、職員の給料、交際費合併十周年記念事業費などの一般管理費が三、六三〇千円。文書広報費一、五二五千円。財政管理費八〇千円。会計管理費一〇千円。建物及び備品などの維持修理、オートバイ、電気計算機などの購入費となる財政管理費は一、六三二千円。諸費一、〇二二千円。

保健衛生総務費六、二八四千元は、赤ちゃんコンクール賞賜金、簡易水道特別会計への繰入金などがおもなもの。予防費は、予防接種などの嘱託医報酬、各種予防接種の費用、胃の検診の手数料などで四、三二九千円です。環境衛生費は、わずめの駆除薬と環境衛生の消毒薬などがおもで六、三八七千円。清掃費は一七〇千円。

おもな仕事として、柿岡下宿から役場裏を経て北町高校線に接続する通学道路の新設のため、上層弓張間の道路改良工事、その他の道路、橋梁の改良は、主要道路から行ない効果的効果を図る。また、県道石岡下宿線の舗装促進などを、県に要請します。

町独自の行なう災害復旧費が二、三六〇千円と三十九年度の災害復旧費として国の査定を受け、決定された六カ所分の三、一八〇千円です。

町独自の行なう災害復旧費が二、三六〇千円と三十九年度の災害復旧費として国の査定を受け、決定された六カ所分の三、一八〇千円です。

# 総額一四四、四八五千円

## 今年度から共済事業加わる

### 国民健康保険

七二、八三三千元

#### 【歳入】

- 国保税 二九、三六七千円
- 使用料及び手数料 二一、二一〇千円
- 国庫支出金 三九、四二二千元
- 繰入金 四、〇〇〇千円
- その他 二二、二二〇千円

【歳出】  
 ○事務費八、四七三千円の内訳は、職員給与、需用費、負担金などの一般管理費に、六、三三三千元。納税に対する奨励金などの徴収費に一、七五五千元。運営協議会費一九五千元。庶務普及費二二〇千円です。

○保険給付費は、被保険者への療養諸費五七、五七四千円その他に助産費、葬祭費など五九、一九四千元。

○保健施設費は四、〇三七千円、おもなものは保健婦設置費、保健衛生普及費、疾病予防費などです。

○予備費 一、〇〇〇千円  
 ○その他 一一八千円

### 農業共済事業

三八、〇八四千元

#### 【歳入】

- 農作物共済勘定 水陸稲、麦の共済掛金、交付金、保険金など一、四九、四四四千元。
- 蚕繭共済勘定 春、夏秋、晩秋蚕の掛金、保険金など一、四九、九千円
- 家畜共済勘定 死産、病傷の共済掛金、保険金など七、〇〇〇千円。
- 業務勘定 賦課金、県支出金、寄付金など一〇、二二一千元。

【歳出】  
 ○農作物共済勘定 陸稲保険料と水陸稲、麦共済金で総額一九、四四四千元

○蚕繭共済勘定 職員定数の改正で小学校に給食給を一人づつ置く

○22号議案 スポーツ振興審議会の条例

### 特別会計

○町債 六、六〇〇千円  
 ○その他 三三二千元

【歳出】  
 総務費一、〇七二千元は、職員給与、需用費、負担金などがおもなものです。簡易水道事業費は、ほとんどが工事の請負費で、他に設計監督委託料、東電負担金、借入金利子などで一八、九一七千円です。予備費は五〇〇千円。

### 有線放送

一三、〇九〇千円

#### 【歳入】

- ▽使用料及び手数料 一一、八九〇千円
- ▽繰入金 八五〇千円
- ▽繰越金 一五〇千円
- ▽諸収入 二〇〇千円

【歳出】  
 △総務費二、九〇〇千円のおもなものとしては、職員給与、需用費、修理材料代、法定積立金、仕事の効率化のための四輪車購入費など。

### 簡易水道

二〇、四八九千円

【歳入】  
 △使用料及び手数料 九二二千元  
 △国庫支出金三、〇九七千円  
 △繰入金 三、九〇〇千円  
 △分担金及び負担金 五、六五〇千円

### 第一回議決されたもの

#### 15号議案

昭和三十八年度八郷町歳入歳出決算は三つの特別会計について承認される

#### 16号議案

三十九年度の整理のための一般会計補正予算で、総額四、八二二千元

#### 17号議案

国保特別会計補正予算

#### 18号議案

簡易水道特別会計補正予算

#### 19号議案

公民館長の報酬を月額一五千元から二五千元にする

#### 20号議案

税条例の改正で軽自税の納期を五月に定める

00 田植えは早目に  
 ことしはよいよ農繁期にはいり、まもなく田植えが始まりますが、こでもう一度米づくりの基本である肥料の正しい施肥方について研究してみましよう。

今年度の長期予報では、低温が予想されますので、田植えを早めたいものです。昨年は追肥の多い所がイモチを多発しています。

ことにPCP除草剤を使用したところでは、あとで追肥したと同時に窒素ができてきますので、よく注意しましょう。また天候の予報に注意して追肥を考えてください。

00 元肥の量  
 元肥は穂数を多くするためのもので、毎年穂数の少ないところでは元肥を多くした方が収量をあげるのに有利です。稲の体内では一定量二・五パーセント以上の窒素濃度でないと分けつがおそい。それは一〇〇〜四〇〇ppm以上の窒素を施肥すると、一定量が増える。

00 どんな肥料を  
 表層から下層へはった根は



よい米づくりに  
 まず田づくりを  
 代る浅野  
 苗すの野  
 は、をの野  
 りの野  
 写真づ下さん

00 加里とリン酸  
 一般の水田にはリン酸が多いので、施肥料は多くする必要もないが、五〜六ppmを下層にいれるようにする。

00 堆肥の利用  
 堆肥は温田より乾田での使用の方が効果が高く、収量が増します。堆肥一ト中大体五

## 「明るい農家づくり」に 父子契約運動を進める

農政活動推進本部、農業委員会、農業労働力調整協議会、教育委員会ではその他の関係機関と協力して「新しい家づくり」の父子契約(親子契約)運動を積極的に展開し、親子共々に働きがいのある明るい円満な家庭づくりを推進することにいたしました。

最近の経済の発達は、各産業を高い水準に引きあげました。それらに比べ農業は、労働力の流出などにより、近代化が遅れて所得格差はますます開き、経済的な不均衡を招いております。とくに若い後継ぎなどの労働力の流出は、

農村社会に深刻な波紋を投げ大きな問題となつております。そののみ農村生活の多くは、経済的、文化的に恵まれず、古い慣習と非近代的な農村の「家」の中で青年たちは希望を失ない、若い女性は農家をことさら敬遠します。このような諸問題を解決していくには、農家の体質改善をはかり、家庭的に明るくすることが先決問題です。

そこで父子契約運動を通じて、農家の近代化を進め、青年には希望を持たせ、家族の一人一人の意志を尊重し、楽しく働けることこそ、生産

の窒素がはいっておりそのうち二割位が吸収されます。この堆肥も土中の腐蝕と同じく、温度が高くなると利用されにくいので地力と同様に考えて元肥を加減します。堆肥の使用によって加里や珪酸がよく吸収されます。それで堆肥は荒起し前に全面散布しておき、できるだけ下層にいれると効果的です。

00 加里とリン酸  
 一般の水田にはリン酸が多いので、施肥料は多くする必要もないが、五〜六ppmを下層にいれるようにする。

00 堆肥の利用  
 堆肥は温田より乾田での使用の方が効果が高く、収量が増します。堆肥一ト中大体五

を高めた近代化の柱となるのではないのでしょうか。ここでまず父子契約をする場合、考えなければならぬことは、その家の経営状態や、その人の地位などにあった待遇をすることになります。

そこで次のような父子契約が考えられます。

- (一) 小使契約
- (二) 賃金契約
- (三) 月給制、歩合制、雇
- (四) 部門契約
- (五) 部門契約制、小作制
- (六) 経営譲渡契約
- (七) 集団契約

しかし、父子契約などという形式は固苦しく感じられますが、あまり「カード」ばった考えにとらわれないうまくても家族内の話し合いをもとに、各自の経営内容に

### 職員人事往來

◆四月定期移動

新課長	栗野 正
課長	吉川 亮
課長	仲村 道夫
課長	石田 忠
課長	柴山 忠
課長	成田常三郎
課長	福島 行雄
課長	吉田農夫雄
課長	芳雄
課長	島田 一夫
課長	飯島 市子
課長	谷田部 平
課長	中田 守文
課長	大沢 和子
課長	金子 国子
課長	滝田 利江
課長	久保田忠順
課長	高橋 和子
課長	穂積 宏子
課長	萩原 久男
課長	富田 力
課長	岡崎 勝巳
課長	藤雄

### 青年学園生募集

町内に居住する青年

- ▽資格
- ▽コース、人員
- ▽年少科 五〇名
- ▽研究科 五〇名
- ▽学習内容
- ・農業生産・一般教養
- ・家事(女子)・その他

▽申し込み 教育委員会へ四月末日までに

### 今月の納税

固定税 第一期分  
 国保税  
 国民年金保険料  
 一、二、三月分

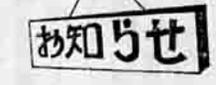
◆みんなて春の大掃除!!  
 ○今月20日から10日間は春季大掃除期間  
 ○この期間には、町から消毒薬が配布されますが、薬剤のとりあつかいは慎重に  
 ○この機会に効果的な大掃除と施設の改善を

◆新採  
 広報課(有線) 萩原 久男  
 経済課 富田 力  
 保険衛生課 岡崎 勝巳  
 恋瀬出張所 桜井 藤雄

あった契約をして、明るい家庭をつくりたいものです。また、父子契約の具体的なこと、ごんこの進め方などについては、きまり次第くわしく説明していきます。

夏の有線放送プログラム  
 (4月1日~11月20日まで)

時刻	時間	放送内容	備考
5,00	6,00	ラジオ放送	送り場関係他
6,00	6,15	ラジオ放送	送り場関係他
6,15	9,00	ラジオ放送	送り場関係他
9,00	9,05	ラジオ放送	送り場関係他
9,05	10,30	ラジオ放送	送り場関係他
10,30	10,45	ラジオ放送	送り場関係他
10,45	11,55	ラジオ放送	送り場関係他
11,55	12,30	ラジオ放送	送り場関係他
12,30	15,00	ラジオ放送	送り場関係他
15,00	15,15	ラジオ放送	送り場関係他
15,15	17,00	ラジオ放送	送り場関係他
17,00	17,10	ラジオ放送	送り場関係他
17,10	18,55	ラジオ放送	送り場関係他
18,55	19,15	ラジオ放送	送り場関係他
19,15	19,45	ラジオ放送	送り場関係他
19,45	20,55	ラジオ放送	送り場関係他
20,55	21,00	ラジオ放送	送り場関係他



教育委員会 岡崎 常雄  
 総務課 綿引 悦子  
 広報課(有線) 藤岡 米子  
 建設課 相沢きみ子  
 出納課 高野 安代  
 農業委員会 飯島 英子  
 佐藤美英子

# すばらしい活動つづける 子ども会(12)を表彰

昭和三十三年度、後援会が表彰されたもので、十九年度、上根子ども会、優良子ども会、白さき子ども会、塚原子ども会、下林子子ども会、川又東子ども会、辻子ども会、表彰を受けた子ども会と後援会は次のとおりです。

**優良子ども会**  
 ○北浦子ども会  
 ○松の妻子ども会  
 ○白さき子ども会  
 ○塚原子ども会  
 ○下林子子ども会  
 ○川又東子ども会  
 ○辻子ども会

**優良後援会**  
 ○眞家子ども会  
 ○石沢子ども会  
 ○杉の子子ども会  
 ○上根子ども会  
 ○小見西子ども会

現在町には、子ども会が三六(会員数四、一三五名)、後援会が一二あり、社会の基礎を築く子どもたちを正しくすこやかに育成するために、後援会はあたたかい援助を与え、子どもたちは自主的に活動を行なっています。



↑写真は鯨岡地内で植樹をする人たち

↓写真はおとなしくお話を聞く児童

## 新しく41名迎え 保育所の入所式



新しい入所児童41名を迎えて、4月1日保育所の入所式が学校などより一足さきに行なわれた。

入所式は、父兄につきそわれ、66名が出席、所長、助役のあいさつをおとなしく聞き、君が代や保育所の歌を上手に歌った。式が終ると緑組、黄組、赤組に別れて教室へ。さっそく、保育さんから紙しばいなどをみせてもらい喜んでいました。2、3日は両親と離れるのをさらいますが、1週間もすぎると喜んで通いはじめるとのことです。

## 緑の週間に植樹祭

### 県内から250名が参加する

緑の週間の四月五日、芦穂地区鯨岡の富士山山内にて、本年度の植樹祭が、茨城県、県緑化推進委員会が主催し、八郷町が後援して盛大に行なわれた。

快晴の暖かい日より恵まれたこの日は、県から細田副知事はじめ、県緑化推進委員長の倉田県議会議長、滝田県議会議員、町からは、町長、助役、議長が出席、さらに県内、地元の林業関係者など二五〇名が参加した。

植樹祭は、主催者あいさつ

## 総会に130名出席 事業計画、予算などきめる

住民の地域活動の振興と、社会福祉の強力な推進をはかり、明るい町づくりをすすめていく社会福祉協議会の総会が、さる四月十三日八郷公民館で開かれた。

総会は、理事、地区支部長、代議員など約一三〇名が出席して午前九時三〇分から開かれた。

会長あいさつのおと、議長に原田益徳氏を選び、議事には、三十九年度事業報告と歳入歳出決算承認、四十年事業計画と予算案などが審議され決定した。つづいて役員改選にうつり理事のうち民生委員、保護司代表、などの一部と監事が改選された。

また、総会には荒井土浦地方福祉事務所長の「社会福祉協議会のあり方、すすめ方」などの講演が行なわれ、午後一時閉会した。

昭和四十年度は予算額一、三八五、二〇〇円で、おもな事業計画は次のとおりです。

**青年団総会開く**  
 団長に菊地君を選ぶ

八郷町青年団総会が、三月二十八日午前九時から団員一〇五名が出席して八郷公民館で開かれた。

総会では、三十九年度事業報告及び歳入歳出決算の承認、昭和四十年事業計画及び予算案を審議して決めた。また新しい役員を選出した。

**退職消防団員に  
 八十六万五千元 第一回**

昨年四月、退職消防団員に対する退職報償金の制度ができましたが、今月第一回の退職報償金を支給しました。

退職報償金は、昭和三十九年四月一日から十月三十一日まで退職した、十五年以上勤務した団員に支給したもので、今回は、第一分団寺沢好夫氏ほか二四名に総額八十六万五千元が支給されました。今後引き続き退職者に支給されることとなります。

## ことしも米は予約制 七千六百俵が目標数量

ことしも、米の集荷は予約制度によって政府買入れが行なわれます。

予約の時期がいつも農繁期にさしかかり、円滑に進まないため、昨年に引き続き早めに予約を実施することにしました。

ことしの目標数量については、三月二十九日、関係者の協議会を開き、七千六百俵に決定しました。皆さんの協力により、より多くの予約ができるようねがいます。

## 昭和40年産米予備予約目標数量

集荷業者名	目標数量 (水もち)		(陸もち)	
	俵	俵	俵	俵
八郷農協	64,470	426	7,622	
榊岡支所	8,460	79	650	
小幡 "	9,750	89	280	
芦穂 "	10,630	63	350	
恋瀬 "	7,210	34	960	
互会 "	9,000	38	620	
園部 "	8,220	19	2,942	
林 "	11,200	104	1,320	
小桜農協	9,430	234	370	
中田商店	800	2	70	
関 "	1,300	42	20	
合計	76,000	704	8,082	

**新しい役員**

○団長 菊地 健一  
 ○副団長 奥村 信一  
 ○書記長 飯田 富子  
 ○会計長 比氣重比古  
 ○常任理事 永山 公士  
 今橋 隆

**新任理事**

○常任理事 足立 晋一  
 ○支団長 小幡 健一

**傷痍軍人会で  
 慰霊祭**

傷痍軍人会では、春分の日高友山殉国の碑前において慰霊祭を行なった。

慰霊祭には、多数の来賓と会員約六〇名が参列、かつて戦場において共に戦った英霊の安らかなることを祈った。



**道路災害復旧工事**

五谷〜弓張線(宇治会地内)  
 延長 50m、幅員 4.5m  
 工費 808,000円

山田堰 =写真= (中戸地内)  
 長さ 5.5m、幅 2m、高さ 1.9m  
 工費 278,000円

神田堰 (瓦谷地内)  
 長さ 6m、幅 1.5m、高さ 0.8m  
 工費 158,000円

大川堰 (太田地内)  
 長さ 5m、幅 7m、高さ 0.8m  
 工費 125,000円

## 友情の花

南中 中川君に善行賞

さる三月十九日、南中学校の卒業式に三年生の中川文男君は、茨城県小さな親切運動本部と南中学校から善行賞を贈られた。

中川君は、中学生として勉強に励むかたわら、父親から教わった技術を利用して、五百名にのぼる自転車通学生のパック修理や整備を自主的に長い間つづけてきたものです。これまでパックなどの修理をしてやった友だちは数えきれないほどです。

こうした友情にあふれた行ないが、生徒や先生、父

「夜の道を明るく、犯罪のない住みよい町に、少しでも役立つ」とこのほど下林の加藤源次郎さん(66)は、一灯の街灯を寄贈しました。

加藤さんは、現在、経営を長男の文夫さんにまかせようとして余生を楽しんでいますが、社会のため最後のご奉行にと区長さんを通して社会福祉協議会へ申し入れがあったものです。社会福祉協議会では、さっそく、東電の協力をえて、下林地区に一一灯の街灯を取りつけました。

これまで、下林地区には街灯がなく、通勤者や部落の人たちが困っていました。が、街灯の贈りものによって、夜の一人歩きも安心してできること大変喜ばれています。

兄の間に話題となり、多くの人たちから感謝され、こんどの表彰となったものです。(写真は中川君)

下林の加藤さん  
 最後のご奉行にと  
 街灯(一灯)おくる

